

研究課題番号	3-2304
研究課題名	浄化槽システムの脱炭素化に向けた維持管理・転換方策の提案とシナリオ設計
研究実施期間	令和5年度～令和7年度
研究機関名	大阪大学
研究代表者名	中久保 豊彦

1. 評価結果

評価ランク：A

2. 委員の指摘及び提言概要

合併処理浄化槽への転換等による GHGs 排出量推計や浄化槽汚泥炭化を含む集約化システムに基づく施策立案支援ツールの開発、既設浄化槽の調査から同排出に影響を及ぼす環境および維持管理要因を導出したこと、モデル浄化槽試験を基に CH₄ および N₂O を含む同排出量削減要因を見出したこと、バイオチャー化による炭素隔離に係るパラメータ導出等が成果として示された。これらはエビデンスを基にした施策決定への貢献に寄与するものと期待される。各研究項目の着実な進捗とともにサブテーマ間での成果引用も認められるが、連携には緩やかな面もあり今後の緊密化が期待される。一方、データ解析に係るサンプル数が少ないことから、統計学的な結論づけの検証に努めるとともに、既存浄化槽の維持管理の改善による効果の検証、研究成果の国際誌への公表、成果を社会実装する道筋の明確化が期待される。